

中部部会の部会運営

名古屋市立大学 岡野衛士

中部部会は原則年 2 回の研究報告会の開催を主に活動している。研究報告会では主として中部部会会員が研究を報告し、討論者(多くの場合報告者が事前に指定した討論者である)が報告に対してコメントする。研究報告会の後に懇親会を開き、会員相互の懇親を深めている。2013 年度以降、名古屋大学(2014 年 3 月)、愛知学院大学(2014 年 10 月、2018 年 3 月)、名古屋学院大学(2015 年 3 月)、南山大学(2015 年 10 月、2019 年 3 月)、名城大学(2016 年 3 月、2019 年 10 月、2023 年 10 月)、中京大学(2016 年 10 月)、名古屋市立大学(2017 年 3 月)、愛知大学(2017 年 10 月)で開催した。開催にあたり開催校の会員各位にはお骨折り頂いていることにこの場をお借りして深く謝意を表したい。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて 2020 年 3 月に予定していた 2019 年度第 2 回研究報告会はやむを得ず中止となった。これ以降、研究報告会はオンライン(2020 年 11 月、2021 年 2 月、2021 年 11 月、2022 年 3 月、2022 年 10 月、2023 年 3 月、2023 年 4 月)で開催された。2023 年度第 2 回研究報告会(2023 年 10 月)より従来通り対面での開催に復した。この研究報告会は名城大学で開催され、久しぶりの対面開催ということもあり大変な盛会となった。

研究報告会の参加者はその多くが中部部会会員であるが関西や関東在住の日本金融学会会員にも特に報告者や討論者として参加して頂いている。報告者は先駆的な報告をする研究者が目立つ一方、実務家も散見され、研究者と実務家の両者が報告しているという意味で研究報告会は日本金融学会の設立の趣意に沿った研究報告の場と言えよう。

研究報告会と併せて、名古屋市立大学大学院経済学研究科若しくは名古屋市立大学経済学会と共同して不定期ながら研究者向け研究会または一般市民向けのシンポジウムを開催してきた。研究者向け研究会として、2019 NCU and Chubu JSME Research Workshop on Accounting & Finance(2019 年 8 月)を名古屋都市センターで、2022 Japan Pitching Research Competition(2022 年 3 月)をオンラインで開催した。これら 2 回の研究会ではオーストラリアから Robert Haff 先生にご参加頂き、報告者は貴重なコメントを得ることができた。一般市民向けシンポジウムとして、名古屋市立大学経済学研究科・附属経済研究所第 25 回公開シンポジウム(2021 年 11 月)、同第 26 回公開シンポジウム(2022 年 11 月)をそれぞれオンラインで開催した。テーマそれぞれ「持続可能性ある社会を目指した金融・ファイナンスの変化の潮流」、「金融リテラシー：現在・過去・未来」であった。

次に中部部会の意思決定と運営体制について述べておきたい。中部部会の意思決定は研究報告会に併せて開催される幹事会および会員総会に委ねられている。主な決定事項は研究報告会の開催校と部会長および会計幹事の決定である。2013・2014 年度の部会長は金井雄一先生が、2015~2018 年度は内田滋先生がそれぞれ務められた。2019 年度以降、部会長、会計担当はそれぞれ岡野衛士、横山和輝先生が務めている。

最後に永らく三菱 UFJ 銀行、名古屋証券取引所には賛助会員として中部部会の活動にご理解、ご協力頂いていることについて謝意を表したい（残念ながら三菱 UFJ 銀行は 2019 年 11 月に退会）。